

## プロから学ぶ！バスケ指導(7月15日)

プロバスケットボール男子B2リーグの「神戸ストークス」の選手らによるバスケットボール教室(1部=小学生対象、2部=中・高校生対象)が、丹波篠山総合スポーツセンターで行われました。神戸ストークスからは谷直樹選手、道原紀晃選手、山本晃佑ユースコーチが参加。小学生対象の教室では、ボールの扱い方から体の動かし方、ドリブルやシュートなどの基本やコツを指導しました。最後に行われた選手チーム対小学生チームの試合では、プロ選手が高等テクニックを披露。子どもたちはプロのプレーに感動していました。また、チアスクール講師のTOMOさんが指導するチアダンス教室も行われ、子どもたちは音楽に合わせて踊りを披露し、会場を盛り上げました。最後に、第一生命保険株式会社から、市内の小中高特別支援学校へのバスケットボール寄贈式もありました。



## 小学生交流体験事業(7月30日～8月1日)

愛媛県の南端に位置する愛南町へ丹波篠山の小学5・6年生9人が訪問しました。市は愛南町および愛知県犬山市と姉妹都市提携を結んでおり、毎年小学生同士の交流を行っています。参加者は、片道7時間のバスの旅を経て、地元の子もたちと一緒にシーボーンアート作り、シーカヤックなどを体験し、心に残る3日間を過ごしました。

## ぎょうままるいぬ #103



★詳しくは、13ページをご覧ください。

## ふれあい市場スイカ祭(8月3日)



大山上の神田神社で大山スイカを味わう祭が開催されました。スイカ品評会で最優秀賞を受賞された松尾壽雄さんは「例年より出来がよく、甘くてシャリ感がある」と話されました。汗が噴き出る暑さの中、大人も子どもも夢中でスイカにかぶりつきました。



## 波々伯部神社の祭礼(8月3日・4日)



「丹波の祇園さん」と呼ばれる波々伯部神社の祭礼が行われました。3日の宵宮には8基の山車が集まり、勇壮な練りを披露しました。4日の本宮には、猛暑のため4基の山車が参加を断念し、残る4基の山車が近くの大歳神社まで往復する渡御を行いました。鎮守の森には子どもたちの鐘や太鼓のお囃子がこだましていました。

## ものフェス(7月20日・21日)



篠山チルドレンズミュージアムで工芸家やハンドメイド作家、飲食店などが集まるイベントが開催されました。クラフトブースでは、木製のカメラ作りやサンドアートなどさまざまな体験ができ、ものづくりの楽しさに触れる2日間となりました。

## 黒豆ナイター 力強い投球を披露(7月31日)



今年で4回目になる「丹波篠山 黒豆ナイター」がZOZOマリスタジアムで開催されました。ファーストピッチセレモニーでは、丹南中学校ソフトボール部の園田美羽さんが登場。中森俊介投手と同じ背番号56のユニホームを着用してマウンドに立った園田さんは、力強い投球を披露しました。

## かじかの里公園で生きもの探し(7月16日)



かやのみ幼稚園の4歳児、5歳児クラスの園児たちが、かじかの里公園を流れる原川で生きもの探しを行いました。原川は魚やオオサンショウウオが遡上できるように魚道が設置されており、園児たちは川に住む多くの生きものとふれあうことができました。

## 川代ダム野鳥・環境愛護協会が河川美化活動(7月20日)



川代ダムの周辺自治会等で構成されている川代ダム野鳥・環境愛護協会(若狭幹雄会長・48人)の皆さんが、篠山川両岸で清掃活動が行われました。会員の皆さんは、野鳥の生息環境を守るため、河川敷の草刈りやごみ拾い、樹木のせん定作業などに汗を流しました。